



好学愛知
自律敬愛
質実剛健

鶴丸イ言

本校ホームページ:



戦後八十年によせて

校長 黒木 誠

入学式の式辞の中でも少しお話をさせていただいたのですが、本稿においても「鶴丸は勉強するところである」という言葉について感ずるところを記してみたいと思います。今年、太平洋戦争が終結した昭和二十年（一九四五年）からちょうど八十年、戦後八十周年を迎える節目の年にあたります。終戦後、社会の様々な制度が変わっていく中で、学校制度の在り方も大きく変化することになります。戦前の五年生課程の旧制中学校は、新しい学制のもと、三年課程の高等学校へと変わりました。本校は、昭和二十四年に旧制鹿児島一中と旧制鹿児島一高女が統合する形で「鶴丸高校」として発足した学校です。

その翌年の昭和二十五年、本校は初めて新制中学校からの新入生を迎えることになるわけですが、その入学式後の新入生と上級生との対面式において、当時の生徒会長が、新入生に対して語った言葉がこの「鶴丸は勉強するところである」と言われています。

当時の鶴丸高校三年生の生徒会長は徳満さんというお名前の方らしいのですが、この徳満さんは、後に、この言葉だけが一人歩きしてしまっ、少し誤解をされて受け止められているという旨のお話もされています。

この言葉に込められた思いを考えると、当時の時代背景を知っておく必要があると、思います。

昭和二十五年当時の高校三年生は、その五年前の昭和二十年、終戦の年に旧制一中の一年生としてこの薬師の地で学生時代を過ごした学年になります。昭和二十年は、その年の三月以降、鹿児島市内においても激しい空襲が繰り返され、六月十七日の空襲では、この場所にあった本校の校舎も焼失してい

ます。また、この時期の旧制一中の生徒たちは県内外の工場に動員されて労働に従事したという記録も残っていますので、学生が学校に勉強する、学校生活を送るという当たり前のことがなかなかできない状況だったのです。

戦争が終わり、新しい鶴丸高校が誕生したときに、当時の生徒たちは自分たちが高校で学んでいる、学ばせてもらっているというこに對して感謝の気持ちを感じていたので、と思いますし、一生懸命に学ぶことによつて、戦争で疲弊した日本の国を、私たちが若者の力で新しい、よりよい国にしていきたいという大きな志があったのだらうと思います。

鶴丸高校に入ってきた新入生に対して、当時の上級生たちは、「新入生の皆さん、ここ鶴丸高校は、皆さんが安心して勉強ができる場所ですよ」、「新入生の皆さん、自分のやりたい勉強を思う存分やってください」、「新入生の皆さん、勉強をやるからには周囲の方々に感謝の気持ちをもって真剣に取り組んでください」

そんな思いが、当時の生徒会長の言葉に込められていたのだと思います。勉強ができることこそは、自由で平和な時代の証なのです。

戦後八十年を迎える今年、生徒の皆さんは、このような学校の歴史にも思いを寄せ、鶴丸での学校生活を送ってもらえればと思います。



旅のはじまりに立って

一学年主任 西元 晃一郎

新入生の皆さん、ご入学おめでとうござい。入学式から早くも1ヶ月が経ちました。この短い間に、対面式や新入生オリエンテーションなど、さまざまな行事がありましたね。緊張しながら初めて制服に袖を通し、校門をくぐったあの日から、皆さんは確かに鶴丸高校の一員として歩み始めています。上級生との出会いや学校の仕組みを学ぶ時間を通して、「自分は今、新しい世界に入ったのだ」と実感した方も多いのではないのでしょうか。新しい仲間との出会い、初めての授業、慣れない通学路――その一つ一つが、皆さんにとつての「旅のはじまり」です。

旅に出るとき、私たちは目的地を思い描き、地図を片手に一歩を踏み出します。鶴丸高校に集った皆さんの多くは、全国の難関大学やその先の未来へ向けて、大きな志を抱いていることでしょう。東京大学や京都大学など、高い山を目指す挑戦には少しの不安と大きな期待があることと思います。目指す先は人それぞれですが、共通するのは、「今よりもっと成長したい」「自分の力を試したい」「未来を切り拓きたい」という前向きな気持ちです。そんな志を持つ皆さんは、まさに人生という大きな旅の途中にいて、その旅は今この瞬間も続いています。

けれど、どんなに綿密に計画を立てても、旅はいつも思いがけない出来事の連続です。道に迷うこともあれば、寄り道や立ち止まりを経験することもあるでしょう。しかし、それら一つ一つが旅を彩る大切なエピソードになります。学びの道のりも、同じです。授業やテストだけでなく、部活動や学校行事、友人との会話や読書など、日々のあらゆる場面から「学び」は生まれます。小さな疑問に立ち止まって考えることや、思い切った誰か

に質問してみること――それらすべてが、自分を形づくる材料になるのです。そして、旅には仲間が欠かせません。同じ学年の友人たち、先輩、先生方、そしてご家族。皆さんの旅を応援し、ときに支え、ときに背中を押してくれる存在が周りにはきっといます。特にこれからは、クラスの中での人間関係が少しずつ形になっていきます。不安もあるかもしれませんが、素直な言葉で自分を表現し、相手の話を傾けることから始めてみてください。信頼できる仲間の存在は、この先の困難を乗り越える力にもなるはずですよ。

この旅の中では、もちろん順風満帆なことばかりではありません。思うように結果が出ないこともあるでしょう。自分の進んでいる道に疑問を感じたり、周り比べて落ち込んだりすることももあるかもしれません。けれど、そんなときこそ思い出してください――「どうしてこの旅を始めようと思ったのか」。目標を見失いそうときは、一度立ち止まり、自分自身と向き合う時間をつくりましょう。地図を見直すことは、間違いを正すことではなく、自分らしい旅を続けるための大切なプロセスです。

私たち鶴丸高校の教職員もまた、皆さんの旅の伴走者です。進路のこと、学習のこと、人間関係のこと――どんなことでも気軽に相談してください。一人で抱え込む必要はありません。迷ったり悩んだりする姿こそ、挑戦している証なのです。

これからの3年間、皆さんは数えきれないほどの「初めて」に出会います。嬉しいことも、苦しいことも、全部ひくるめて「高校生活」です。だからこそ、今この春の一步を大切にしたいと思えます。地道に積み重ねた努力は、やがて必ず自信となるでしょう。

さあ、新しい学び舎での旅が始まりました。自分らしい歩幅で、一歩ずつ確かに歩いていきましょう。この旅路が、皆さんにとって豊かで実り多いものとなりますように。

に質問してみること――それらすべてが、自分を形づくる材料になるのです。

そして、旅には仲間が欠かせません。同じ学年の友人たち、先輩、先生方、そしてご家族。皆さんの旅を応援し、ときに支え、ときに背中を押してくれる存在が周りにはきっといます。特にこれからは、クラスの中での人間関係が少しずつ形になっていきます。不安もあるかもしれませんが、素直な言葉で自分を表現し、相手の話を傾けることから始めてみてください。信頼できる仲間の存在は、この先の困難を乗り越える力にもなるはずですよ。

この旅の中では、もちろん順風満帆なことばかりではありません。思うように結果が出ないこともあるでしょう。自分の進んでいる道に疑問を感じたり、周り比べて落ち込んだりすることももあるかもしれません。けれど、そんなときこそ思い出してください――「どうしてこの旅を始めようと思ったのか」。目標を見失いそうときは、一度立ち止まり、自分自身と向き合う時間をつくりましょう。地図を見直すことは、間違いを正すことではなく、自分らしい旅を続けるための大切なプロセスです。

私たち鶴丸高校の教職員もまた、皆さんの旅の伴走者です。進路のこと、学習のこと、人間関係のこと――どんなことでも気軽に相談してください。一人で抱え込む必要はありません。迷ったり悩んだりする姿こそ、挑戦している証なのです。

これからの3年間、皆さんは数えきれないほどの「初めて」に出会います。嬉しいことも、苦しいことも、全部ひくるめて「高校生活」です。だからこそ、今この春の一步を大切にしたいと思えます。地道に積み重ねた努力は、やがて必ず自信となるでしょう。

さあ、新しい学び舎での旅が始まりました。自分らしい歩幅で、一歩ずつ確かに歩いていきましょう。この旅路が、皆さんにとって豊かで実り多いものとなりますように。

創立記念式典・講演会

4月21日(月)、創立記念式典、記念講演会が開催されました。式の中では一中・一高女の校歌も披露され、131年目の歴史に花をそえました。講演会では、本校26回生の鮫島浩氏(宮崎大学学長 産婦人科医)から「学ぶことと研究すること」と題し、講演していただきました。研究内容や学生時代の経験も交えながら、学ぶことの意味や、大学や社会が求める人材について分かりやすく話をされ、講演後は、生徒との間で活発な質疑応答も行われました。

産婦人科医として、胎児についての謎を解説していただくとともに、最後に「出産のさまざまな困難を経て、私たちが誕生させてくれた母へ感謝をしましょう」という大切なメッセージもいただきました。

4月18日(金)、第55回甲南・鶴丸スポーツ交歓会が開催されました。どの会場でも両校生徒が熱戦を繰り広げ、大いに盛り上がる大会となりました。選手はもちろんのこと、応援の生徒たちも声を揃えて雰囲気盛り上げていました。

結果は甲南高校に総合優勝を譲ることとなりましたが、両校の健闘をたたえ、クラスや部活の仲間と親睦を深めた、かけがえない一日であったことと思います。

運営や準備に携わった皆さん、応援にかけつけてくださった保護者や地域の皆様、ありがとうございました。

第55回甲南・鶴丸スポーツ交歓会

令和7年4月18日(金) 於 鹿児島県立鶴丸高校



令和7年4月18日(金) 於 鹿児島県立鶴丸高校

↑発行時の予定です。変更にご注意ください。